

# KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: [info@j-kana.or.jp](mailto:info@j-kana.or.jp)

# 1

January, 2019

vol. 418

Contents

会長年頭挨拶…01

支部だより…02

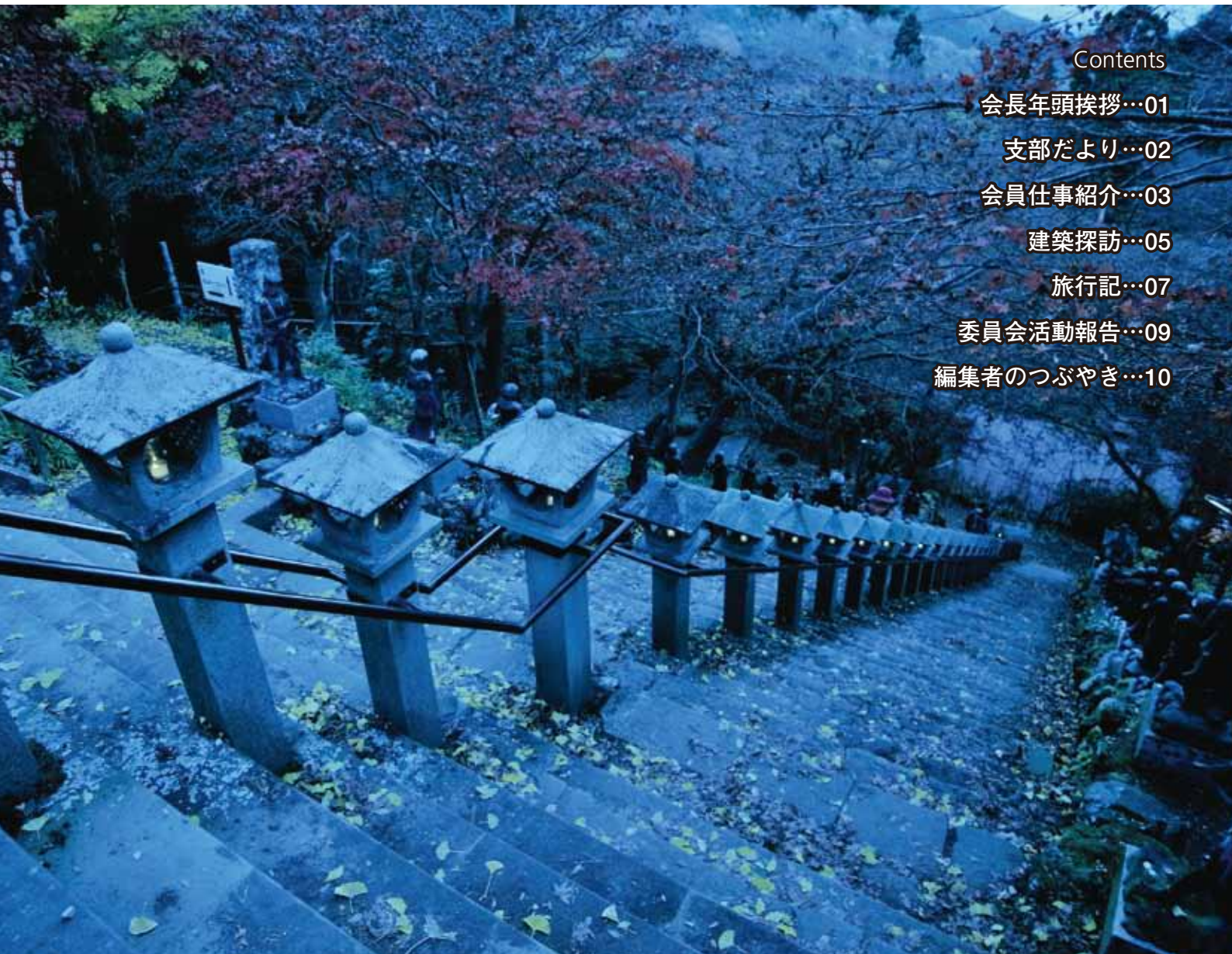
会員仕事紹介…03

建築探訪…05

旅行記…07

委員会活動報告…09

編集者のつぶやき…10



# 謹賀新年

## 本年もよろしくお願ひいたします

### 『新年のご挨拶』



一般社団法人  
神奈川県建築士事務所協会  
会長 白井 勇



1 新年明けましておめでとうございます。  
一般社団法人神奈川県建築士事務所協会は、この一年間「未来に継げる神事協」の目標の下、各委員会が昨年引き続き新しい会のあり方を考えた検討を行って参りました。

「役に立つ会」とは何か？をテーマとしたアンケートの実施や分析を基に、新しい年号の年に新組織のスタートを考えています。特に、若い世代が参加出来る形を検討しています。

支部・ブロックとの連携も重要な要素となってきました。支部でのさまざまな企画に対する支援や相互の協力も一体化した組織として機能するために必要です。

建築設計事務所や建築士に関する今年度の動きとして、新建築士試験制度とも言うべき建築士法の一部改正法が昨年末成立し、2020年度の建築士試験から改正されることになりました。建築士の減少に歯止めをかけられることが今後期待されますが、運用面や実務経験の要件等、問題もあるようです。告示15号の改正については、現在

の実態に合わせる形になりますが、中小規模物件については不利な部分もあるようです。働き方改革に関する対応は事務所協会の全国組織でもある日本建築士事務所協会連合会（日事連）の委員会でも検討しておりますが、難しい業種でもあり、新しい働き方のスタイルを構築出来るかが早急に取り組まなければならない課題です。

厳しい環境が予想される中、組織や会員相互の連携を生かしながら、小規模事務所でも安定的に経営する方策を確立できると考えています。

昨春より、日本建築士事務所協会連合会の役員に就任した関係もあり、多くの課題にも日事連との連携で取り組んで行ければと思います。

新年にあたり、行政並びに関係各団体の皆様方には変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。また、会員の皆様には、“まだまだやれる設計事務所”のスローガンの下、事務所協会と共に頑張っていたいただき、運営、活動にご協力をお願いいたします。

## 川崎支部活動報告～川崎市民祭への参加～

(株)多摩設計 岩田 崇

11月初旬、秋風がようやく心地良く感じられるこの時期になるとやって来るのが川崎市民祭りです。『つくろうみんなのひろば』を合言葉に始まったこの祭りは、例年50万人もの来場者が訪れる川崎市の恒例行事のひとつであり、今年で第41回目を迎えました。

事務所協会川崎支部では毎年この市民祭に「あなたのまちの設計事務所」のノボりと共に参加しており、一般市民へ建築設計事務所の仕事内容や事務所協会としての活動をアピールしております。昨年からは市民との交流をテーマとし、特に子供連れの親子に楽しんで頂くために、家型貯金箱のペーパークラフト作りを行っております。このペーパークラフトですが簡単に出来そうに見えて作成してみると実はなかなか手強かったりします…昨年度、組み立てに手間取り来場頂いた皆さんへの対応に苦慮した経験から本年は、より簡易なキットへと変更しま

した。それでも組み立て作業に悪戦苦闘するため途中から、組み立ての終わったペーパークラフトの屋根や外壁を好きな色に塗って頂く作業に絞って実施しました。各テーブルに多数のカラーペンやクレヨンを用意し子供たちに思うように色塗りを楽しんでもらいました。

11月2日、3日、4日の3日間という連休期間中ではありましたが支部会員、賛助会員延べ27名が参加し活動に当たりました。中でも一番来場者が多い時間帯では、本当に息をつく間もないほどの盛況で参加メンバーが一致団結し、何とか乗り切ることが出来ました。

今回来場頂きペーパークラフト製作に参加してくれた子供さん達が将来的に建築に興味を持つきっかけになってもらえれば幸いです。今後とも市民との交流を通して当会はもとより、設計事務所の存在を広く伝えていければと思います。



### 鎌倉浄明寺の家

矢野建築事務所 矢野 高

秦野支部の矢野と申します。

私の経歴を簡単にお話ししますと、1990年に地元的设计事務所に転職、その後、かつての秦野支部長だった武井建築事務所にお世話になり、2004年4月に矢野建築事務所を立ち上げ、現在に至ります。

小規模建築物を手掛けることが多い当事務所ですが、そのうち印象に残っている仕事である「浄明寺の家」について触れてみたいと思います。

2011年、東日本大震災の年の初秋、長野県原村にある工務店と神奈川の工務店と木材コーディネーターと共にチームを立ち上げるという形でスタートしました。

横浜に住まわれていたお施主様が、高速道路の建設により転居を余儀なくされることから始まります。シンガーソングライターとして活躍し、ある映画の主題歌も作曲された実績をもつお施主様のお嬢様が原村にその工務店の施工による住まいを建て、その流れで転居の必要に迫られたご両親も同じような住まいを…となったわけです。

選ばれた土地は鎌倉・浄明寺の閑静な住宅地の一角でした。

木材コーディネーター（林業と工務店・住まい手の結びつき強化を使命とした民間資格）が材木の選定に動き、わたしは設計と工事監理を受け持ち、長野の工務店は刻みと上棟、以後は神奈川の工務店がバトンを受けて竣工に至らせる、と役割が定まり、翌年初夏からは本格的に着工に向けて動き出します。

渡りあご工法を用いる、自然素材を積極的に取り入れるなど、お施主様の要望、当方の提案をまじえ、時間が過ぎていきました。もちろんすべてが円滑に進むというわけではなく、しかしその都度話し合いを重ね、良い方向に進むようにしました。充実した時間でありました。

敷地は高低差が2m前後あり、宅地造成規制法の許可を待って2013年年明けから擁壁工事に入り、3月末には基礎工事、翌月には上棟、8月に竣工引き渡しとなり、ようやく木の香りに溢れた住まいが完成しました。



浄明寺の家 全景 (1)



浄明寺の家 全景 (2)

特筆すべきは冷暖房で、お施主様の提案より輻射冷暖房パネルを導入しましたが、冷気が自然で心地よく感じました。これはよかったですと思います。

あれから5年…現在でもお施主様からは時々ご連絡やご相談をいただいたり、暇を見つけてはお嬢様のライブに足を運んだりさせていただいております。

そのお嬢様も今年ご結婚され、幸せな家庭を築かれることでしょう。

この物件に限らず、どのお仕事でも何かしら学ぶことがあります。これからも努力を積み重ねて歩んでいきたいと思っております。拙い文にお付き合いいただき、誠にありがとうございました。



上棟時の様子



座位に合わせ天井高は抑えめ



レトロな雰囲気のお嬢さんのセレクト



輻射冷暖房パネル

## 有名建築家の現代建築にふれる長良川温泉研修旅行記

鈴木設計株式会社 鈴木 玲成

6月の末に、横須賀支部主催の1泊2日、岐阜方面での建築視察へ参加してきた。

視察した中で、印象に残った建物を紹介したい。

一つ目は、平成27年7月にオープンした「みんなの森 ぎふメディアコスモス」である。岐阜市の中心市街地、金華山・長良川近くに建つ図書館を中心とした2階建て、建築面積約7000㎡、延床面積約1万5000㎡の複合施設である。この建物の設計は伊東豊雄氏によるもので、金華山の山並みに呼応した起伏のある屋根を特徴とした独創的な外観となっている。

館内に入ると、全体的に木材が多く使用されていることもあり、ヒノキの香りを感じることができ、とても落ち着く。

そして、正面入り口の前にある階段をのぼって2階へ行くと、思わず「おお」と言ってしまうほどの空間が広がっている。2階部分にある「岐阜市立図書館」のフロアである。ここは、今まで自分が行ったことのある図書館のイメージとはだいぶ違い、とても斬新で開放感のあるスペースだった。岐阜県産の「東濃ひのき」という木材を使った、職人さんの手作業で一層一層組み合わせてつくられている天井は、木造格子屋根で、波打つ水面をイメージしているそうだ。

そして、もう一つ特徴的なのが、天井から吊るされた白いかさのような半透明のドーム状のものである。これは「グローブ」と呼ばれ、昼間は屋根から入ってくる自然光を取り入れ室内に拡散させ、夜にはLEDによる人工照明のシェードの役割をするそうだ。このグローブは11個あり、それぞれ模様が異なっている。この模様が館内フロアガイドにもものっているので、広い館内でも迷うことなく目的の場所に行くことができるように工夫されている。

今回の視察は昼間の時間帯だったので次回は、昼間とはまた違った雰囲気になるであろう照明の光る夜間開館時に訪問してみたい。



外観



2階・グローブ



館内フロアガイド

次に、紹介したいのは、バスで向かっているときに住宅街の中からあらわれた、不思議な形をした「モザイクタイルミュージアム」である。

施釉磁器モザイクタイル発祥の地であり、全国一の生産量を誇る多治見市笠原町に平成28年6月に建てられたこの建物は藤森照信氏が設計したものである。

見たことのない何とも言えない形をしていて、ほのぼのとした気持ちになる外観である。

芝生の中にある、やや傾斜した小道を建物に向かって歩いていくと、かわいらしい入口がみえてくる。近づいてみると土の壁には陶磁器やタイルのかけらが埋め込まれている。なんともおしゃれな建物だ。

見学時は4階の一番上まで階段で歩いていき、上から降りながら見学していくようになっている。この4階に、藤森氏のアイデアで作られたという「タイルカーテン」がある。上が吹き抜けになっているので、晴れていた今回は光があたりとてもきれいだった。

他にも、タイルの製造工程と歴史の展示室や体験工房などがあつた。

岐阜県に、新しい斬新な建物があるといろいろ聞いてはいたものの、実際に自分の足を運んで、それを見た方がよくわかる。「百聞は一見にしかず」ということわざが示す通りであった。だが今回は、偶然にも伊東豊雄氏、藤森照信氏の講演会が、今回の支部旅行後に開催された。それぞれの講演会に参加して、設計者本人からの説明を聞くこともでき、非常に有意義なものとなった。「百聞は一見

にしかず」の先の「百見は一考にしかず」に進めた気がした。建築士として、地元産の材料を使つての建物や地元のこれからのことを考えて、まちの発展につながっていく一助となることを考えていきたい。



入口

タイルカーテン



集合写真



外観



タイルで埋めつくされた自動車

## 北欧紀行

梅澤典雄設計事務所 梅澤 典雄

学生の頃、北欧の建築に心惹かれていた。そこには当時王道だったアメリカ建築にはない細やかな陰影とかやさしいデザインに魅力があった。

しかしその後スウェーデンとフィンランドを訪れることはなかった。

だんだん夢がしばみかけていたが今年の夏、大学の恩師から誘いを受け両国を訪れることになった。

その旅は恩師の友人を訪ねることが目的で特に建築ツアーというわけではなかった。観光客が訪れることがないストックホルム近郊のノースショッピングという街と船でバルト海を渡りたどり着つたフィンランドの自治区オーランド島のゲタという田舎を訪ねた。ゲストとして家に泊めていただき歓待を受けた。しかしそれは決して豪華すぎることもなく、気取ることもなく、家庭的で快適なものだった。

7 北欧の人々が持っているやさしさ、穏やかさ、自然に対する控えめさ、それらが醸し出す豊かな生活感を実感した。

スウェーデンとフィンランドの建築はこうした穏やかな生活感の先に存在している。



ノースショッピングの街：かつて織り物産業が栄えた。学園都市として復活している。



アアルト：アカデミア書店

<ストックホルム市庁舎>1923年／エストベリ／スウェーデン・ストックホルム

エストベリは太陽あふれるベニスにあこがれ、中庭広場と水辺を作り出した。広場は道路側から水辺へ向けて1階分勾配をつけてある。水面の輝きが中庭に入ると目に入る憎い演出だ。塔の優雅なカーブ、レンガの壁が実に気品がある。

ノーベル賞のレセプションに使われる黄金の間や青の間、議場も素晴らしい。

その後の現代建築の工業化の過程で失った価値について考えさせられた。



ストックホルム市庁舎外観





トックホルム市庁舎広場から湖を見る

＜森の火葬場＞1940年／アスプルンド、レベレンス／スウェーデン・ストックホルム

直線の低い石垣に沿って緩やかに昇る坂道、その先の大きな十字架、芝生に覆われた丘、頂の木々が風に揺れる。取り囲む森、火葬場の入り口の列柱、静謐で神聖なランドスケープにアスプルンドが求めた北欧の人たちの大地や風ともにある死生観を感じた。



アスプルンド：森の火葬場

＜復活の礼拝堂＞1941年／ブリュグマン／フィンランド・トゥルク

そっけない外部空間から堂内に入ると、淡い色のステンドグラスを通じて周囲の松林の緑が見える。正面の壁にさす柔らかい光が清らかなアクセントになっている。かまぼこ型天井とわずかな襞のついた壁が光を拡散させていて祈りの場が生み出される。どうしたらこんな美しい建築が設計できるのだろうか。

ブリュグマン：  
復活の礼拝堂内部

＜アアルト自邸＞1936年／アアルト／フィンランド・ヘルシンキ

ヘルシンキには多くのアアルト作品がありいろいろ見学することができた。アアルトの自邸と近くにあるアトリエは公開されていた。

巨匠の自邸はやはり名作だった。室内空間と庭の連続、プロポーション、プラン、細部から設備の納まりに至るまでとことん考えてデザインしていた。住宅の設計とはかくありたいと思った。

8



アアルト自邸外部



アアルト自邸居間

## 委員会活動報告

### 平成最後となる2018年の委員会活動紹介

景観・まちづくり専門委員会 委員長  
 (株)TERRAデザイン 代表取締役  
 (一社)感共建築ラボ 代表理事  
 寺本 勉



景観・まちづくり専門委員会8年目に入りました。

本年度は、発足時より目標としていた景観整備機構<sup>注1)</sup>の指定を相模原市より受けることができました。



<sup>注1)</sup> 景観整備機構：景観法第92条に定める団体

#### ○相模原市第一号となる景観整備機構の指定について

今回の指定は、法令で明示されている業務のうち第1号、第2号、第7号が対象となりました。おもに人材派遣や調査研究となります。また、具体的な取組みを業務計画書にまとめました。

来年度は、前述の業務計画書の内容を元に手のつけやすいものから取り組めるようにマイルストーンを作成して順に着手する予定です。また、今回の指定が呼び水となるかと思しますので、県内その他の景観行政団体へ指定の働きかけを進めていきたいと思えます。3月に機構として1回目となる指定講習会を開催予定です。

#### ○勉強会の開催「“景観整備機構と建築士の役割”勉強会」

「地域活性に貢献した『まちづくり』の実行例・手法」というテーマにて、埼玉会の元景観整備機構代表である浅野正敏様に講師をお願いして1月17日(水)に開催しました。

#### ○神奈川県建築安全協会助成事業「平成30年度安全な道空間景観資源利活用調査事業」の紹介

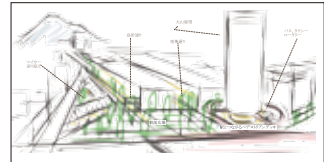
楽しむ道や遊べる道など移動の為だけではない多様な公共空間とまち並み景観を創出するため、道路空間の現状を分析する調査事業の助成採択をいただき、現在調査を実施しています。



文献調査・検討会および6カ所の現地調査を行い道を活用するための整備ガイドを作成する予定です。

#### ○伊勢原市商業のまちづくり協議会との協働活動「伊勢原駅北口再整備への提言」の紹介

伊勢原市商業のまちづくり協議会のまちなみ整備環境部会と連携して「伊勢原駅北口再整備への提言」の策定を進めています。計画イメージの検討や、再整備事業の協議会セットアップ提案などを検討しています。



#### ○湯河原町の調査委託事業「温泉槽と河川の景観資源調査事業」

温泉槽を活かした観光や景観への取組みを河川も含めて景観資源調査を提案し、湯河原町より事業の委託を受ける形で調査事業を実施しました。12月に無事富田町長へ報告することができました。

#### ○伊勢原市との協働事業「景観ビュースポットマップ事業2年目」

2年目となる今回は「建築専門家の視点」でマップを作成しました。3年目は「来訪者の視点」でマップを作成予定です。

#### ○大磯のまちあるき「大磯まちあるき新旧邸宅めぐりツアー」

2月10日(土)に開催しました。旧吉田茂邸や旧安田善次郎邸などを見学しました。

#### ○横須賀のまちあるき「浦賀道(2回目)と浦賀のまち」

3月10日(土)に開催しました。浦賀ドックを経て番所跡や叶(かのう)神社へ至る道を歩きました。

2019年も楽しく活発に活動していきたいと思えますので、ぜひ多くの方のご参加をおまちしております。

景観・まちづくり専門委員会公式サイト  
<http://www.j-kana.or.jp/kmachi/>



FaceBook ページ  
<https://www.facebook.com/k.keikan>



新入会員のご紹介	
11月入会者	
<b>川崎支部</b> 株式会社大和一級建築士事務所 〒232-0025横浜市南区高砂町2-19-5 TEL.045-225-8200 FAX.045-225-8201	田窪 弘
退会者	
<b>横浜支部</b> 寺嶋建築研究所一級建築士事務所	寺嶋 修康
<b>川崎支部</b> エス・イー・エス岡田コンサルティング株式会社一級建築士事務所	岡田 泉
<b>藤沢支部</b> 北川建築事務所一級建築士事務所	北川 春樹
<b>愛川支部</b> 有限会社林建築設計事務所	林 茂
変更	
<b>横浜支部</b> 株式会社星野土建一級建築士事務所 (指定代表者変更) 星野 将史	
<b>鎌倉支部</b> 一見デザイン事務所こくらく一級建築士事務所 (事務所名称変更) 旧) 佐藤一級建築士事務所	
<b>伊勢原支部</b> 株式会社フリース建築設計 (事務所名称、事務所所在地、TEL、FAX変更) 〒259-1114伊勢原市高森1845 うらたビル503号室 TEL0463-71-5552 FAX0463-71-5553 旧) FREAK'S建築設計	
<b>相模原支部</b> 株式会社オリバー建設一級建築士事務所 (指定代表者変更) 高貝 英雄	
賛助会新入会員	
荻野化成株式会社 城東テクノ株式会社東京支店	

会 勢	支部名	平成30年12月5日現在				増減
		平成30年4月1日	現在	入会者	退会者	
横 浜	257	258	8	7	1	
川 崎	107	108	3	2	1	
横 須 賀	53	53	0	0	0	
湘南三浦	17	18	1	0	1	
藤 沢	43	41	0	2	-2	
鎌 倉	41	40	0	1	-1	
茅ヶ崎寒川	17	17	0	0	0	
平 塚	23	22	0	1	-1	
秦 野	16	16	0	0	0	
伊 勢 原	6	6	0	0	0	
大和綾瀬	18	18	0	0	0	
厚 木	29	28	0	1	-1	
座 間	15	15	0	0	0	
海老名	16	16	0	0	0	
愛 川	6	5	0	1	-1	
相模原	70	70	2	2	0	
県 西	40	41	1	0	1	
合 計	774	772	15	17	-2	
賛助会員	92	101	9	0	9	

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

## 編集者のつぶやき

若いころから乗ってみたかった憧れのバイクを、この歳になってようやく乗れるようになりました。世間では働き方改革など聞いていますが、個人事務所ではなかなか改革などしようもありません。が、それでも少しずつバイクに乗る時間を取っています。ツーリングでは風を感じ、エンジン音を感じ、人生100年時代といわれる昨今についても思いを巡らせます。健康寿命があと何年あるか分かりませんが、これまでより少しだけ自分を大切にしたいと思う今日この頃です。

〈相模原支部 石川 勝彦〉



かながわ 平成31年1月号 (通号418号)

発行 平成31年1月1日 (奇数月1日発行)  
 発行人 白井 勇  
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会  
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F  
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807  
 印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 西倉 哲夫  
 広報情報委員長 杉本 勝郎  
 広報情報副委員長 相原 聡  
 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史  
 田代 智子 田中 敦史 仙波 弦  
 石川 勝彦 神尾 明美  
 事務局 久保田 千尋



---

今月の表紙

## 大山寺の急階段

紅葉の時期には賑わう 関東総鎮護の霊山 大山の、大山寺ですが晩冬の夕方ともなると人影まばら。前号に続き「階段」の表紙となりますが、本紙「かながわ」を楽しめる広報誌として充実させる取り組みを昨年より行っています。一步一步階段を踏みしめて参ります。今年もよろしくお願ひします。

---



一般 社団法人 神奈川建築士事務所協会  
Kanagawa Architect Office Association